

Experimental Study on Aerodynamic Features of Boundary Layer Developed past Spires over Wall Surfaces

ヌルイザトゥル, アティカ, ビンティ, ラマト

<https://doi.org/10.15017/1931956>

出版情報 : 九州大学, 2017, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	NURIZZATUL ATIKHA BINTI RAHMAT		
論文名	Experimental Study on Aerodynamic Features of Boundary Layer Developed past Spires over Wall Surfaces (スパイヤー風下に発達する壁面境界層の流体力学的特性に関する実験的研究)		
論文調査委員	主査	九州大学	教授 萩島 理
	副査	九州大学	教授 谷本 潤
	副査	九州大学	教授 杉原 裕司

論文審査の結果の要旨

本論文は、都市気候学や風工学における風洞模型実験の流入風生成に用いられるスパイヤーに関して、その風下に形成される境界層の発達過程及びスパイヤーの速度欠損による平均流のスパン方向不均一の問題について詳細な実験データを取得するとともに、スパイヤーwakeと壁面境界層の相互干渉の存在を考察しており、都市環境工学に寄与するところが大きく価値ある業績であると認める。よって、博士(工学)の学位に値すると認める。